

## OpenRTM-aist (Java) - バグ #4399

preconnectで接続した場合、ON\_BUFFER\_WRITEコールバックが呼び出されない。

2017/12/26 11:17 - katami

ステータス:	担当	開始日:	2017/12/26
優先度:	通常	期日:	
担当者:	katami	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
<b>説明</b>			
preconnectを使わず、システムエディタやrtconで接続した場合は、コールバックは呼び出される。			

### 関係しているリビジョン

リビジョン 1087 - 2017/12/26 13:49 - t-katami

[compat,bugfix,->RELENG\_1\_2] Fixed the bug. refs #4399

### 履歴

#1 - 2017/12/26 14:51 - katami

ConnectorDataListenerT<DataType> リスナクラス(ジェネリクス)で、以下のように指定してpreconnectで接続した場合、不具合が発生する。

```
manager.components.preconnect: Throughput0.out^Throughput0.in(dataflow_type=push&interface_type=corba_cdr)
```

上記の設定でpreconnect接続した場合、ConnectorProfileのdataport.data\_typeが設定されない。  
パラメータの指定により型が決まる(addInPort/addOutPort/InPort::addConnectorDataListener)仕様。  
ConnectorDataListenerTは、実行時に型が指定できる。

ConnectorDataListenerTコールバック呼び出しの際に、ConnectorProfileのdataport.data\_typeとポートのdataport.data\_typeを比較している。  
これは、コールバック関数内でデータを扱う際に、データ型不一致による例外発生を防ぐため。  
ConnectorProfileのdataport.data\_typeが未設定の場合は、データ型が不一致として、コールバックが呼び出されなかった。  
ConnectorProfileのdataport.data\_typeが未設定の場合は、コールバックするように修正。

#2 - 2018/01/15 16:32 - katami

- 対象バージョンを RELEASE\_1\_2\_0 にセット

- 進捗率を 0 から 100 に変更

#3 - 2018/01/18 14:09 - katami

- 対象バージョンを削除 (RELEASE\_1\_2\_0)